

La Espero

L.L. Zamenhof

- 1) En la mondon venis nova sento,
tra la mondo iras forta voko;
per flugiloj de facila vento
nun de loko flugu ĝi al loko.
Ne al glavo sangon soifanta
ĝi la homan tiras familion:
al la mond' eterne militanta
ĝi promesas sanktan harmonion.
- 2) Sub la sankta signo de l' espero
kolektiĝas pacaj batalantoj,
kaj rapide kreskas la afero
per laboro de la esperantoj.
Forte staras muroj de miljaroj
inter la popoloj dividitaj;
sed dissaltos la obstinaj baroj,
per la sankta amo disbatitaj.
- 3) Sur neŭtrala lingva fundamento,
komprenante unu la alian,
la popoloj faros en konsento
unu grandan rondon familian.
Nia diligenta kolegaro
en laboro paca ne laciĝos,
ĝis la bela sonĝo de l' homaro
por eterna ben' efektiviĝos.

ウィキペディア

- 1) 世界に新しい感覚が満ちてきた、
力強い叫びが世界を駆け抜ける；
軽やかな風の翼に乗って
今こそ方々に飛び行け。
血に飢えた剣には
人間の家族を導きはしない：
永遠なる不和の世界に
神聖な調和が約束される。
- 2) 神聖な希望の印の元に
平和の戦士が寄り集い、
事業が速やかに発展していく
希望する人達の働きによって。
数千年もの壁が厳然と立ちはだかる
分断された人々の間に；
しかし壁は破られるだろう
神聖な愛に打ち砕かれて。
- 3) 中立な言語の基礎の上で、
相互に理解し合い、
人々は合意のもとで
大きな家族を作るだろう。
我々の誠実な仲間たちは
平和の仕事を投げ出すことは無い、
人間の美しい夢が
永遠の輝かしい現実となるまで。

希望

詞：奥村林蔵

- 1) あたらし 息吹き おこり
たくまし こえ とどろく
追いかぜ つばさとなり
くまなく い行きわたれ
血に染む 太刃つるぎに
とこ世の やすらぎ なし
うるわし この世のさち
求めて 希望に満つ
- 2) け高き みどりの星
めざして 人あつまり
早くも 拡がる わざ
勇まし 人の力
ちとせの垣 根強く
我らを へだておれど
見よ 今 ぐだけ散らん
かがやく愛に うたれ
- 3) 一つの言葉もちて
心を かよわせつつ
世の人 みな ひとつに
つどわん まどい つくり
わが たのもし友ばら
疲れを ものともせず
うるわし われらのゆめ
この世に 花咲かせん